

ブルーカーボン・コンブプロジェクトに

参加しよう！

里海イニシアティブ設立準備委員会 @ 神奈川県横浜市



ブルーカーボンとは、コンブなどの海の生物によって固定化されるCO₂を意味する。温室効果ガスの削減は、昨年末に開催された第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で採択された「パリ協定」でも、発展途上国を含む196カ国・地域が取り組むことが決まったばかり。ブルーカーボンは、森林でCO₂を固定するグリーンカーボンに比べると認知度は低いものの、地球温暖化対策には重要な要素だ。ましてや日本は世界で6番目の長さの海岸線をもつ国。それにもかかわらず、注目度が低かったブルーカーボンにスポットを当てたのがこのブルーカーボン・コンブプロジェクトだ。ただ、従来もグリーンカーボンへの取り組みは、各地で進んでいた。NPO海の森づくり推進協会が行ってきたコンブ栽培、独立行政法人水産総合研究センターでの研究、横浜市でも脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン事業」を2011年度から進めてきた。今回のプロジェクトは、散在していたこれらの取り組みをまとめ、さまざまな視点からバワフルに進めようと思った。運営は前浜の海から地球環境の正常化を目指す「里海イニシアティブ」が行い、「コンブの計画栽培の実証実験」をはじめ、環境教育、収穫したコンブの健康食品、化粧品、医薬品な



ブルーカーボン・ヨコハマ コンブプロジェクト
Blue Carbon Yokohama KUMBI project



わかやま 船のエキシビション!



<収穫祭>のご案内

開催日：2016年4月23日(土)・24日(日) (予定)

場 所：横浜ベイサイドマリーナ

問い合わせ：里海イニシアティブ設立準備委員会

<http://satoumi-i.com>

Email: ybkombuman@gmail.com

TEL：045-374-5990

FAX：045-374-5991

どへの利活用法の開発など、多彩な要素で構成されたプロジェクトを展開する。中心となる「コンブの計画栽培の実証実験」は、横浜ブルーカーボン事業に沿った取り組みで、横浜市漁業協同組合の一拠点である「金沢支所」の前浜水域をフィールドにコンブを栽培する。金沢支所の協力のもと、すでに昨年11月には、種付けが完了し、1カ月ごとのモニタリングが進んでいる。実証実験場は横浜・八景島シーパラダイスのジェットコースターのコースの真下というユニークさだ。

地元の漁業関係者に加え、環境教育の専門家も積極的に協力している。坂田邦江さんは、地元、横浜市金沢区の公立小学校に環境教育を定着させた実績を持つ元教師。子どもたちと一緒にアマモ（海草）を植える活動をし、現在は、横浜・八景島シーパラダイス内で、月1回開催される「海育塾」で講師を務める。

4月23日・24日には、種付けしたコンブの収穫祭が行われる（予定）。当日は、現在募集中の「コンブ・一株オーナー」（500円）。誰でも参加可能）に収穫したコンブを配るほか、プロによるコンブ料理、地元の漁師による漁師料理が食べられるイベント、環境教育イベントなどが企画されている。

ブルーカーボンをキーワードに、環境活動と地元の活性化が実現する興味深い取り組みに期待したい。